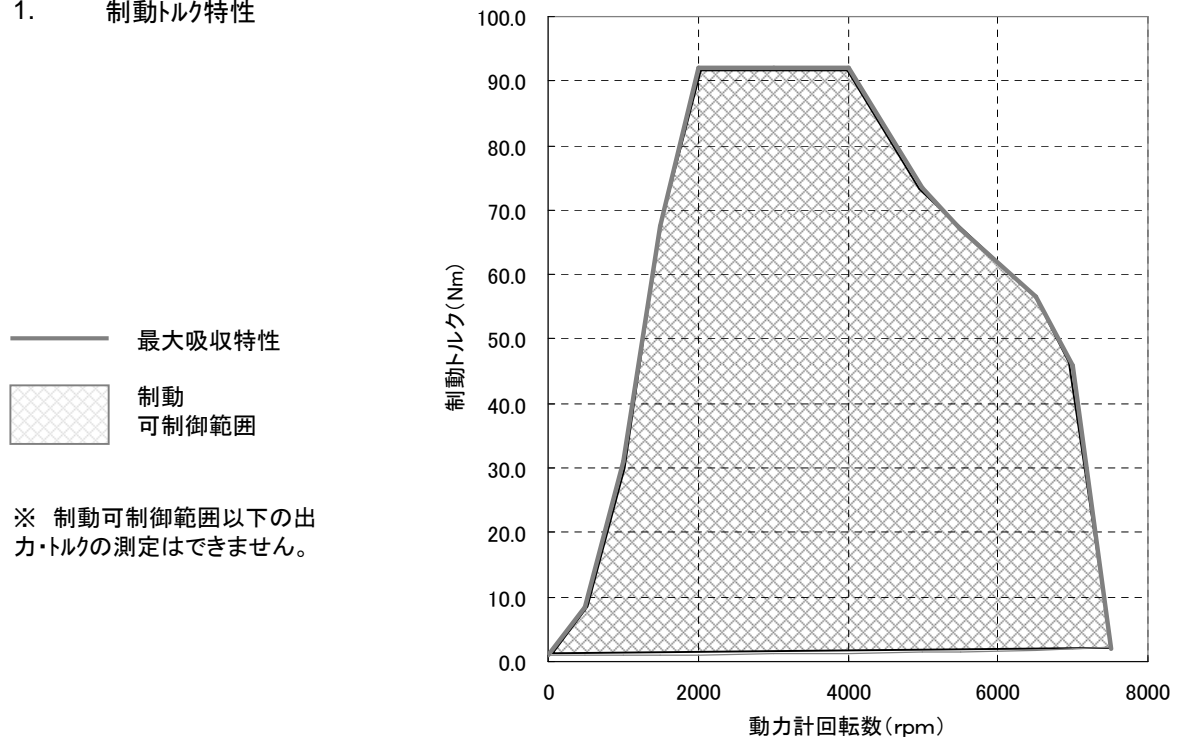


(1) 動力計DA50-UW 仕様 制動装置・仕様

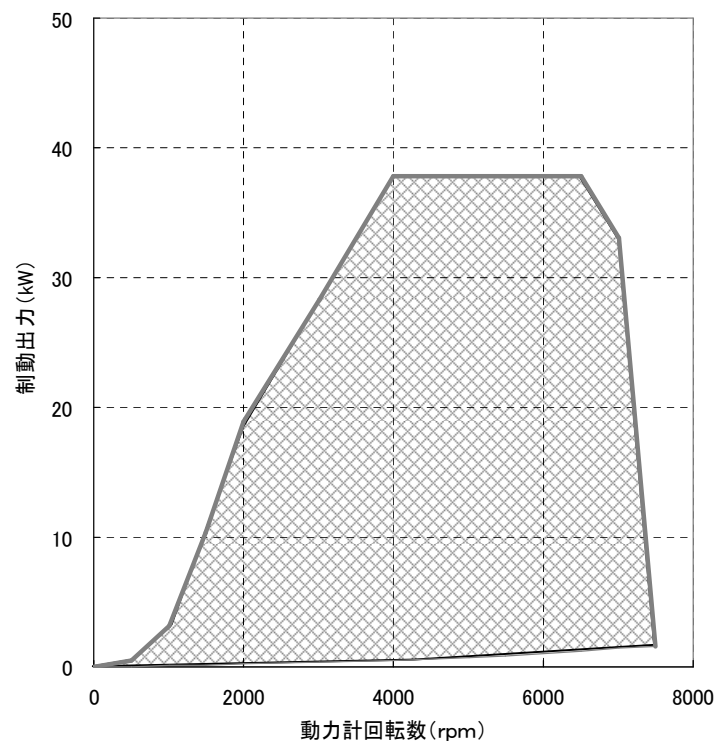
1.	型式	DA50-UW
2.	回転方向	両回転 *ロードセル信号の切り替えはロードセル配線挿替えにより行う。 切り替え時は校正が必要
3.	最大吸収動力	37.75kW (約51PS) / 4000 r. p. m. (添付特性図参照)
4.	最高許容回転速度	7500 r.p.m.
5.	トルク検出器	ロードセル
	[1.] 型番	VLC-134S (VMC) *詳細はセンサ仕様参照
	[2.] 定格荷重	981N (100kgf)
	[3.] アーム長	中心より225mm
	[4.] 校正アーム長	中心より675mm (3:1)
6.	トルク指示	デジタル指示計 *詳細はセンサ仕様参照
	[1.] 指示単位	N
7.	回転検出	
	[1.] 回転検出数	8パルス/回転
	[2.] センサ	アンプ内蔵ビームセンサ (EE-SX772A オムロン)
8.	回転速度表示	動力計コントローラで計算 PC上に表示 *詳細はコントローラ仕様参照
9.	冷却水	
	[1.] 循環方式	完全密閉方式。 給水圧により循環
	[2.] 給水量	10 L / min 以上
	定期交換部品	制動ユニットベアリング、支持ベアリング、冷却水リング(分解時のみ) *型番など詳細は納入仕様書にてご説明
10.	[1.] 交換	ベアリング交換。約2500時間 * * 単気筒やツインエンジンなどのトルク変動の多い動力機器の測定や、 使用の方法などにより交換までの時間が短くなります。ご了承ください。
11.	重量	約 260 kg 補器類を除く。
12.	外形・寸法等	外形図参照
13.	付属品	校正アーム、校正錘

(1) 動力計DA50-UW仕様 制動特性

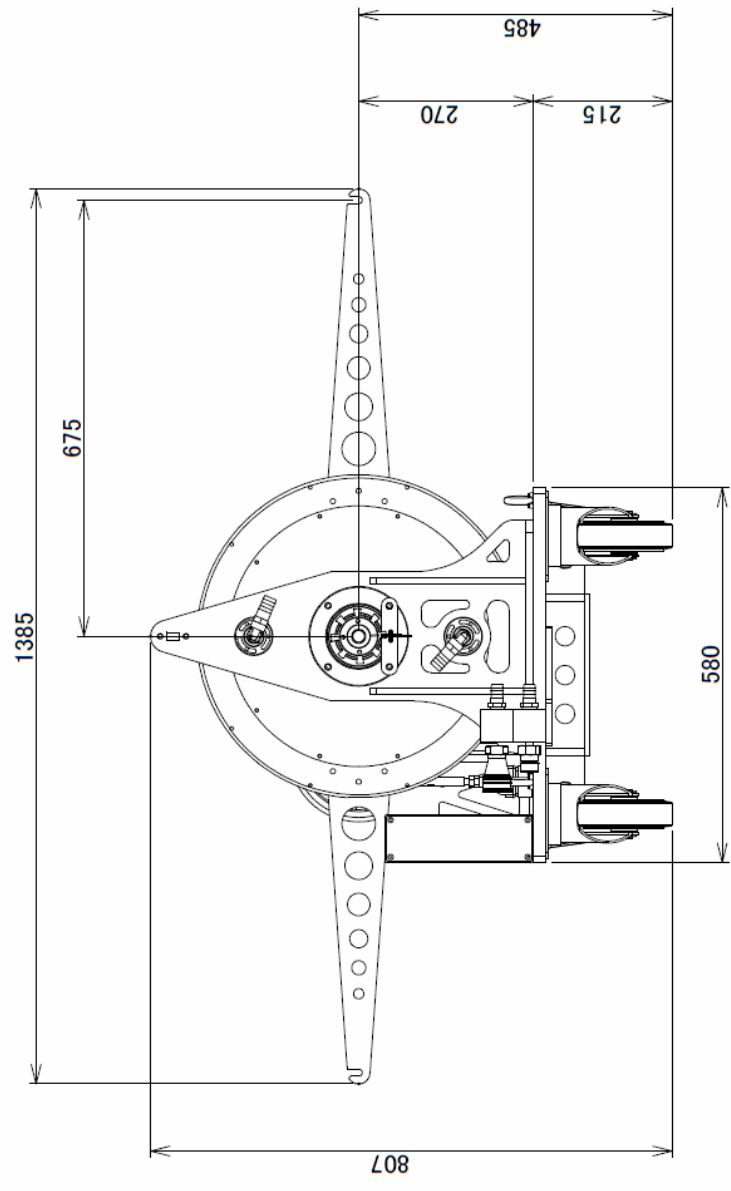
1. 制動トルク特性



2. 制動出力特性



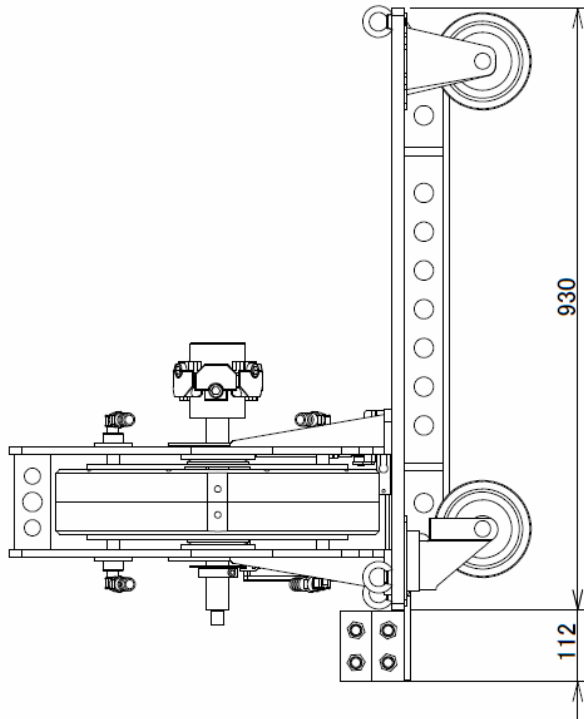
加工許容差: Allowance [mm]	
寸法区分: Range	許容差
≦ 4	±0.1
4 < ≦ 16	±0.2
16 < ≦ 63	±0.3
63 < ≦ 250	±0.5
250 < ≦ 1000	±0.8



備考: Remarks
各部かえり無きこと: No Burrs

No. 製図: Designed by 沼田	訂正事項: Correction 承認: Approved by 中根	日付: Date 2008.01.16	訂正者: Name
	尺度: Scale 1:10		部品名: Part Name 正面図
Enjoy Development FC Design			部品番号: Part No.
			材料: Material 三角法 Trigonometry
			表面処理: Surface Treatment

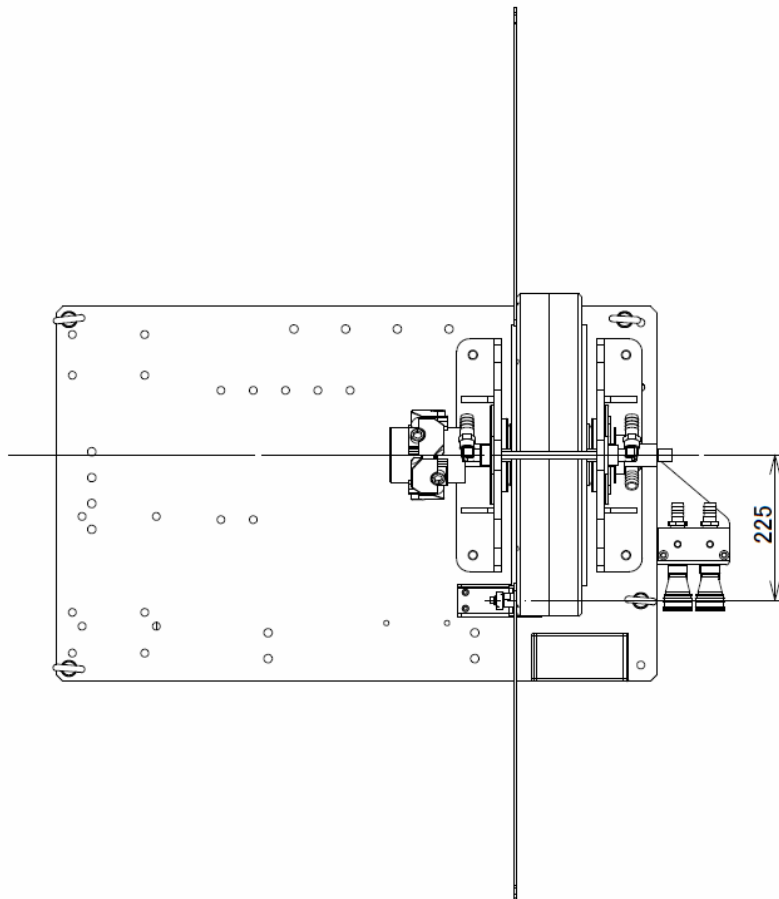
加工許容差: Allowance [mm]	
寸法区分: Range	許容差
≧ 4	±0.1
4 < ≧ 16	±0.2
16 < ≧ 63	±0.3
63 < ≧ 250	±0.5
250 < ≧ 1000	±0.8



備考: Remarks
各部かえり無きこと: No Burrs

No.	訂正事項: Correction	日付: Date	訂正者: Name
製図: Designed by 沼田	承認: Approved by 中根	日付: Date 2008.01.16	尺度: Scale 1:10
Enjoy Development FC Design		部品名: Part Name 側面図	部品番号: Part No.
		材料: Material 三角法 Trigonometry	表面処理: Surface Treatment

加工許容差: Allowance [mm]	
寸法区分: Range	許容差
≧ 4	±0.1
4 < ≧ 16	±0.2
16 < ≧ 63	±0.3
63 < ≧ 250	±0.5
250 < ≧ 1000	±0.8



備考: Remarks
各部かえり無きこと: No Burrs

No. 製図: Designed by 沼田	訂正事項: Correction 承認: Approved by 中根	日付: Date 2008.01.16	訂正者: Name
	尺度: Scale 1:10		部品名: Part Name 平面図
Enjoy Development FC Design			部品番号: Part No.
			材料: Material 三角法 Trigonometry
			表面処理: Surface Treatment

(4) PCソフトウェア仕様

1/3

1. 動力計データ収集・コントロール

- [1.] 名称 「動力計データ収集・コントロール」
- [2.] 表示機能 動力計コントローラとの通信により、センサデータを取得。
アナログ、もしくはセンサ単体とPCの通信により取得。
アナログ入力値校正可能。
センサデータから物理量を計算し表示する。
表示データに複数通信回数分の移動平均をかける事が可能。
表示方式、グリッドへの数値表示、メータ表示、グラフ表示。
- [3.] 物理量計算 計算式は出荷時に専用編集ソフトウェアで設定して出荷。
計算式設定可能個数26CH(アナログセンサ変換式CHを含む。)
センサ値⇔物理量変換は計算式もしくはテーブル参照変換。
(計算式は添付資料参照)
- [4.] 動力計コントローラ通信 絶縁USBシリアル変換器 経由でRS232C (COMポート)
PCとの接続はUSB
通信サイクル 5回/秒
- [5.] 追加アナログ
インタフェース(オプション) USBアナログインタフェースを4CH単位で、最大8CHまで拡張可能。
PCとの接続はUSB
通信サイクル 5回/秒 (入力前段フィルタ機能搭載)
- [6.] 記録機能 任意のタイミングで記録操作を行うことにより計算済みデータの記録。
表示用の物理計算値から任意に設定したデータ種類を24種まで保存可能。(出荷時設定は添付資料参照)
記録したデータのグラフ表示機能。印刷機能。
- [7.] 保存形式 任意のフォルダに自動的にファイルを作成する。
ファイルには測定条件、定数などを同時に記録する。
ファイル拡張子は.csv でEXCELなどで読み込み可能。
(ファイル内の書式は添付資料参照)
- [8.] 印刷機能 記録済みデータの一覧印刷
記録済みデータのグラフ印刷。印刷するデータ種の設定は任意に設定可能。
- [9.] 手動負荷設定 コントローラは本ソフトウェアと通信時にのみ手動負荷設定可能。指示はコントロールパネルダイヤルで操作することができる。
- [10.] 自動記録機能
1. タイマー記録機能 (標準搭載)
 2. 速度目標値のバッチ変更 & 自動記録 (オプション)
 3. ステップ設定式自動記録機能 (オプション)

(4) PCソフトウェア仕様

2/3

2. 閲覧用ソフトウェア

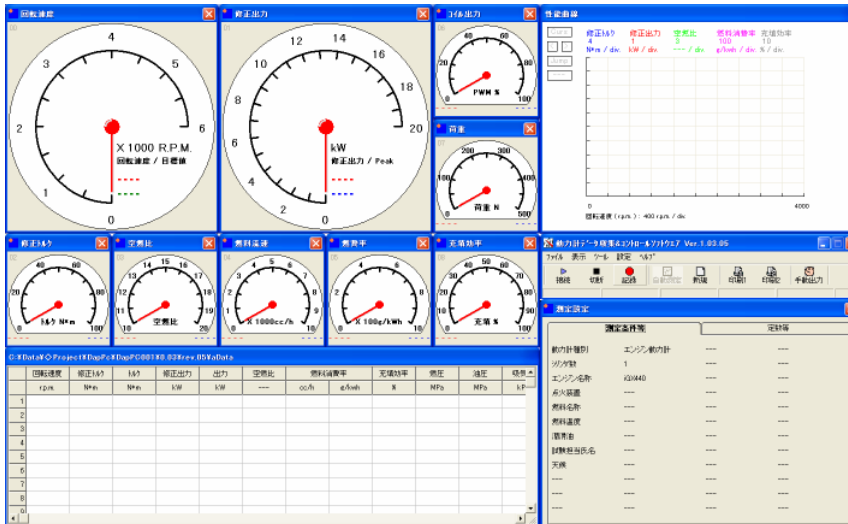
- [1.] 名称 「動力計データ閲覧ソフトウェア」
- [2.] 表示・編集機能 動力計ソフトウェアで記録したCSV形式ファイルのみ開くことが可能。開いたデータの記録済み数値およびコメント、グラフ、測定条件等、定数等を閲覧可能。定数等と計測数値は編集不可。データソート機能あり。
グラフは横軸、縦軸とも任意のデータ種を設定することができる。
- [3.] 印刷機能 記録済みデータの一覧印刷
記録済みデータのグラフ印刷。印刷するデータ種の設定は任意に設定可能。

3. コントローラ設定ソフトウェア

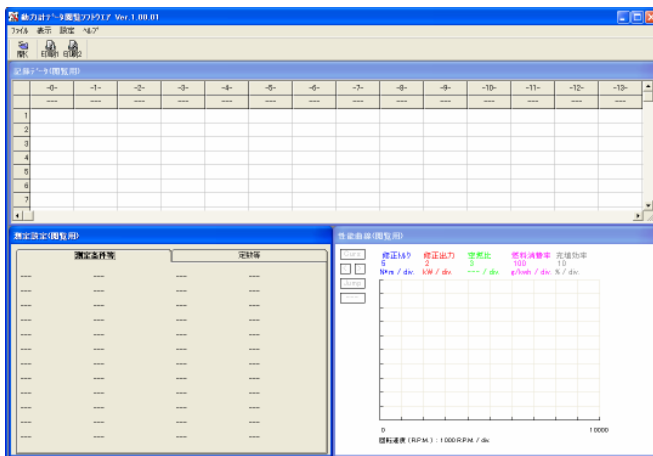
- [1.] 名称 「動力計コントローラ設定」
- [2.] 設定機能 接続している動力計に関して、以下のパラメータを設定可能
- 過回転速度警報の閾値回転速度設定
 - 速度目標値追従制御のゲインパラメータ
- [3.] 通信 1. 「動力計データ収集・コントロール」ソフトウェアと同方式。
ただし、同時使用はできない。

※ [その他のオプションソフトウェア機能についてはそれぞれの解説をご覧ください。](#)

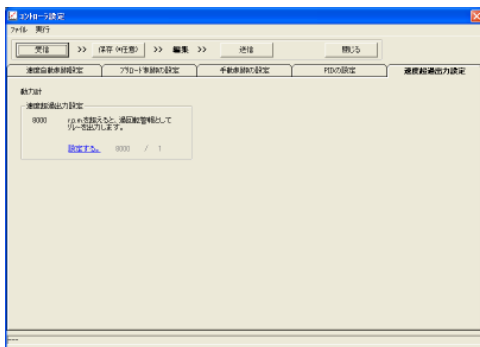
(4) PCソフトウェア仕様



動力計コントロールソフトウェア



動力計データ閲覧ソフトウェア



動力計コントローラ設定ソフトウェア